

補助金評価シート(平成21年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名(補助金名)		担当課	担当係名		所属長(課長等)名		担当者係長名	
95003	ソバ、大豆刈取補助金		産業振興課	農政係		中村 良治		足助 和実	
一次評価年月日			平成	22	年	6	月	30	日
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)		会計区分		事業コード		事業名(歳出予算見積書)		
			<input checked="" type="checkbox"/> 一般	<input type="checkbox"/> 特別	0603		農業振興事業		
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ		章		1章		美しく豊かな自然環境		
			節		1節		豊かな自然と共生する		
			項〔基本施策〕		112		田園の保全		
			主な取り組み		1121		田園環境整備マスタープランに基づく環境保全に配慮した各種事業の推進		
	関連する計画等への位置づけ		<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他			
	補助金の期間		<input type="checkbox"/> 単年度	<input type="checkbox"/> 継続 (開始)	年度 ~ (終了予定)		年度		
	補助金の性質		<input type="checkbox"/> 事業費補助	<input type="checkbox"/> 団体運営費補助	<input type="checkbox"/> 大会運営費補助	<input type="checkbox"/> 利子補給	その他()		
	補助金の交付基準		<input type="checkbox"/> 法令	<input type="checkbox"/> 条例規則	<input type="checkbox"/> 要綱等	契約書 (規則等の名称:)			
補助金の算定方式		<input type="checkbox"/> 予算補助	<input type="checkbox"/> 決算補助	<input type="checkbox"/> 定率補助	<input checked="" type="checkbox"/> 定額補助				
補助金の財源内訳		<input checked="" type="checkbox"/> 町単独補助	<input type="checkbox"/> 国・県補助あり	(町 / 10)		(県 / 10)		(国 / 10)	

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

<input type="checkbox"/> 一部事務組合等	<input type="checkbox"/> 公益法人	<input checked="" type="checkbox"/> 企業や団体	<input type="checkbox"/> 個人
----------------------------------	-------------------------------	---	-----------------------------

(交付団体名 : 営農団体及び認定農業者)

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

米の生産調整のため、転作田に地域特例作物であるソバ・大豆を振興するため、面積を集約して作付け・出荷した者に対して補助する。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	各営農組合・認定農業者に転作田の栽培作物として、ソバ・大豆の作付けを奨励する。
2	

(3) 補助金事業の実績【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		20年度	21年度	22年度 (見込み)		22	年度 (見込み)	
① 指標名	ソバ・大豆の刈り取り面積	a	5,396	5,308	5,400		5,400	
説明	目標値設定の根拠	ソバ・大豆の刈り取り面積						
② 指標名								
説明	目標値設定の根拠							

(4) 交付額実績/計画の推移【Do2】

		平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度													
事業費(円)		5,935,666			5,838,580			6,000,000			6,000,000													
補助率(町負担分)		16.8%			17.1%			16.7%			16.7%													
町交付額(円)		1,000,000			1,000,000			1,000,000			1,000,000													
財源内訳	特定財源																							
	国庫支出金																							
	県支出金																							
	地方債																							
	その他	4,935,666			4,838,580			5,000,000			5,000,000													
	一般財源	1,000,000			1,000,000			1,000,000			1,000,000													
人件費の概算		(千円)																						
対前年比		%																						
		課長			課長補佐			係長			一般職員			延べ人数			年間人件費		年間人件費		年間人件費		年間人件費	
		H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23	/	/	/	/	/	/	
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	515	517	524	524			
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート											0	0	0	0	0	0	0	0				

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	{理由} 特に農業者
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である	{理由} 水田農業、遊休荒地防止のため
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	{理由} 農業者に特定されるが、自然環境の保全から見ると町民全体といえる。
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	{理由} 国の農業施策上必要
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	{理由} ソバ・大豆の作付け面積の拡大、農地の荒廃防止になっている。
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	{理由} ソバ・大豆の産地づくりになっている。
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	B	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	{理由} 産地づくり交付金の作付け確認でソバ・大豆の作付けを確認している。
その他	これまでに見直し実績はあるか	B	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	{理由} 国及び町の奨励作物を作付けすることによって、農地荒地化防止に役立っている。
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		国の水田農業施策上で、農地の荒廃が進むのは避けられない状況、農地の保全等自然環境を守り、生産組織の育成と産地づくりを行うために必要。	

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

《今後の展開方針》(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 増額する
 b 減額する
 c その他(隔年対応等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	22年度予算見積書への反映	<input checked="" type="checkbox"/>	あり	<input type="checkbox"/>	なし
転作における主要作物を増加させるため、継続していきたい。	[反映内容]				
	定額で100万円				

(7) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
辰野ブランドとして計画したい作物、作付け面積増大を図るため継続実施	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記 a ~ c を選択